

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	母子保健・福祉従事者対象研修会 「発達障害児の早期発見と支援」 「子どもの心の診療医研修会」 「周産期医療研修会」等	母子保健・福祉従事者の資質向上	保健師、助産師、看護師、医師、保育士、検査技術者等	1362	19	母子保健・福祉従事者対象研修会 「発達障害児の早期発見と支援」 「子どもの心の診療医研修会」 「周産期医療研修会」等	母子保健・福祉従事者の資質向上	保健師、助産師、看護師、医師、保育士、検査技術者等	1600	19
	愛育病院における出産準備、育児支援のための各種講座、出産前小児保健指導事業、NICU退院児の発育発達フォロー他	出産準備、育児支援、発達支援、産前産後の健康管理	妊産婦、乳幼児とその家族	5738		愛育病院における出産準備、育児支援のための各種講座、出産前小児保健指導事業、NICU退院児の発育発達フォロー他	出産準備、育児支援、発達支援、産前産後の健康管理	妊産婦、乳幼児とその家族		
	日本子ども家庭総合研究所における研究	子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行い、その成果を研究紀要にて発表する。 (研究テーマ:家庭的保育のあり方に関する研究、母子の食生活支援に関する研究 他)	政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他			日本子ども家庭総合研究所における研究	子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行い、その成果を研究紀要にて発表する。 (研究テーマ:家庭的保育のあり方に関する研究、母子の食生活支援に関する研究 他)	政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他		
	情報提供	ウェブサイト「愛育ねっと」 「母子保健情報」の発行(年2回) 「日本子ども資料年鑑2012」の編集	子ども家庭福祉関係の機関、研究者等 母子保健関係の機関、研究者等			情報提供	ウェブサイト「愛育ねっと」 「母子保健情報」の発行(年2回) 「日本子ども資料年鑑2011」の編集	子ども家庭福祉関係の機関、研究者等 母子保健関係の機関、研究者等		
全国助産師教育協議会	講演「資格枠組(QF)の世界的展開と看護&助産師教育」	助産師教育の資質向上のための助産師資格の枠組みについて理解を深める	助産師教育関係者等	250	1					
	講演「助産師教育の質 一変遷から見えるもの」	助産師教育の変遷から助産師教育の質向上のための手がかりを探る	助産師教育関係者等	200	1					
	シンポジウム「これからの助産師に必要なもの」	これからの助産師に必要な能力について、さまざまな立場から情報を伝達し合う	助産師教育関係者等	200	1					
	講演「崩壊する周産期医療を救う周産期電子カルテネットワーク」	遠隔地においても情報が共有できる周産期電子カルテネットワークについての理解を深める	助産師教育関係者等	200	1					
	講演「生きる力を与える助産師:その過去・現在・未来のすがた」	文化人類学の立場から見た助産師の活動の変遷とその意義について理解を深める	助産師教育関係者等	200	1					
全国保健所長会	地域保健総合推進事業(全国保健所長会協力事業)「保健所と市保健福祉センター、産科医療機関との連携による妊産婦への禁煙支援体制の構築」	妊産婦へ効果的な禁煙支援を行うために、保健所が中心となって市保健福祉センター、産科医療機関との間で連携・協力体制の構築を行う。								
日本医師会	家族計画・母体保護法指導者講習会を開催	母体保護法を適正に運営するため	医師	179	1	平成23年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催		医師会会員、日本産婦人科医会会員	250	1
	母体保護法・周産期医療等に関する検討委員会を開催	妊娠と出産に関わる制度的課題とその運用	医師、弁護士	14	4	母体保護法・周産期医療等に関する検討委員会を開催	周産期医療のあり方について			4
	母体保護法指定医師の指定権に関する検討小委員会	母体保護法に関わる問題について	医師、弁護士	7	4	子ども支援日本医師会宣言	母子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進			
日本家族計画協会	東京都不妊ホットライン	不妊に関する相談、特に医療に関すること以外が中心であるため、他施設との差別化が図られた	不妊に悩む男女、関係者	365		平成23年母子保健・家族計画全国大会 (健やか親子21全国大会)	「健やか親子21」の普及啓発	「健やか親子21」の推進関係者	1000	1
						東京都不妊ホットライン	不妊に関する相談、当事者相談が特徴	不妊に悩む男女、関係者	350	
日本助産学会	研究助成	わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成(各30万円、50万円)を行い、研究終了後、冊子を作成し、その成果を広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。	助産師(研究代表者は日本助産学会会員) 学術奨励研究助成 2件 委託研究助成 2件	HP掲載	1回	研究助成	わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成(各30万円、50万円)を行い、研究終了後、冊子を作成し、その成果を広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。	助産師(研究代表者は日本助産学会会員) 学術奨励研究助成 2件 委託研究助成 2件	HP掲載	1回
	第25回日本助産学会学術集会	<メインテーマ>未来に継ぐ助産学－助産の知と技、精神－ <学術集会長>名古屋立大大学院 北川真理子先生 特別講演、シンポジウム、フォーラム、公開講座、一般講演等を企画している。	助産師、学生、一般	ポスター配布は会員数約1,700程予定している HP掲載	1回	第26回日本助産学会学術集会	<メインテーマ>助産力を高める <学術集会長>天使大学大学院助産研究科教授 園生陽子 特別講演、シンポジウム、一般講演等を企画している。	助産師、学生、一般	ポスター配布は会員数約1,800程予定している HP掲載	1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本助産学会	第7回国際助産協働セミナー企画（第24回日本助産学会学術集会プレコンgresワークショップ） ・ラオスにかかわった助産師からの話題提供 「ラオスの女性がお産にのぞむもの」「助産師制度をつくるラオス政府の動きにかかわって」 ・講演：「日本の助産師の昔と今とこれから－文化人類学の立場から－」松岡悦子氏	国際協働及び国際的視野の助産活動を行う。	助産師、国際保健協力に関心のある方	ポスター配布は会員数約1,700程予定している HP掲載	1回	国際助産協働セミナー（予定）	国際協働及び国際的視野の助産活動を行う。	助産師、国際保健協力に関心のある方	ポスター配布は会員数約1,800程予定している HP掲載	1回
	セミナー開催	NICUに入院した新生児のための母乳育児支援セミナー	助産師、看護師	ポスター配布は会員数約1,700程予定している HP掲載	1回	セミナー開催	助産スキルアップのため開催。	助産師、看護師	ポスター配布は会員数約1,700程予定している HP掲載	1回
	スキルアップ研修「会陰縫合」	助産スキルアップのための研修を行う。	助産師（日本助産学会会員）	ポスター配布は会員数約1,700程予定している HP掲載	1回	新生児蘇生法インストラクター研修	助産スキルアップのための研修を行う。	助産師（日本助産学会会員）	ポスター配布は会員数約1,800程予定している HP掲載	1回
	日本助産学会誌	①学会誌24巻1号 ②学会誌24巻2号	助産師、一般（日本助産学会会員）	1750部	2回	日本助産学会誌	①学会誌25巻1号 ②学会誌25巻2号	助産師、一般（日本助産学会会員）	1750部予定	2回
	日本助産学会ニュースレター	第62号、第63号、第64号	助産師、一般（日本助産学会会員）	1750部	3回	日本助産学会ニュースレター	第65号、第66号、第67号	助産師、一般（日本助産学会会員）	1750部予定	3回
	「国際助産師の日」ポスター	日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作	助産師、（日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁）	約500部	1回	「国際助産師の日」ポスター	日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作	助産師、（日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁）	500部	1回
	日本赤十字社	看護師等養成事業（助産師の養成）	助産師確保及び育成のため	助産師を志す学生		通年	看護師等養成事業（助産師の養成）	助産師確保及び育成のため	助産師を志す学生	
医療事業（総合周産期母子医療センター）		周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年	医療事業（総合周産期母子医療センター）	周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年
医療事業（地域周産期母子医療センター）		周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年	医療事業（地域周産期母子医療センター）	周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年
医療事業（妊産婦健康相談の実施）		妊産婦の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年	医療事業（妊産婦健康相談の実施）	妊産婦の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年
医療事業（両親学級の開催）		妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため	患者及びその家族		通年	医療事業（両親学級の開催）	妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため	患者及びその家族		通年
日本保育協会	育児電話相談「ママさん110番」	子育て不安の軽減のため、元保育園長、小児科医、看護師等による育児電話相談を実施	育児中の保護者等	1451	月～金曜日 10:00～16:00	育児電話相談「ママさん110番」	子育て不安の軽減のため、元保育園長、小児科医、看護師等による育児電話相談を実施	育児中の保護者等		月～金曜日、10:00～16:00
一般社団法人日本母性衛生学会	シンポジウム「周産期のメンタルヘルス」	地域における産後のメンタルヘルスに関し、問題の発見と援助の方法について強化	医師、看護師等	200	1	講演会「妊婦健診体制のほころびを補強する」	周産期医療体制の現状報告、妊婦健診未受診の問題について討議	医師、看護師など	200	1
	講演「これからの助産師とチーム医療と役割拡大」	助産師とチーム医療と役割拡大の今後の在り方についての提言	医師、看護師等	200	1	講演会「母子健康手帳の今昔」	母子健康手帳の変遷についての講演	医師、看護師など	200	1
						講演会「助産外来～きめ細やかな妊娠分娩育児支援のために」	助産システムの確立についての提言	医師、看護師など	100	1
						講演「幸せなお産－開業医の半世紀にわたる自然分娩の取り組み－」	長年にわたる自然分娩への取り組みについて	医師、看護師など	1000	1
公益社団法人 日本産婦人科医会		・妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例の集積と解析を行い、会員への周知に努めた。	産婦人科医師（日本産婦人科医会会員）				・妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努める。	産婦人科医師（日本産婦人科医会会員）		

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績				平成23年度の行動計画					
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
公益社団法人 日本産婦人科医会		・妊産婦死亡の実態について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行った。	産婦人科医師 (日本産婦人科医会会員)				・妊産婦死亡の実態について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行う。	産婦人科医師 (日本産婦人科医会会員)		
		厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究(主任研究者 池田智明)」に参加し、周産期医療システムの再評価と改善を目的に行うわが国の妊産婦死亡の調査・分析の手法について、協議し決定した。					日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会編「産婦人科診療ガイドライン：婦人科編」の周知と活用の促進に努める。	産婦人科医師 (日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会会員)		
		妊産婦死亡の原因救命防止対策の観点から「産科危機的出血への対応ガイドライン」作成のための五学会合同委員会に参画した。	日本産婦人科医会、日本輸血・細胞治療学会、日本麻酔科学会、日本周産期・新生児医学会、日本産科婦人科学会				課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。			
		日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人科診療ガイドライン作成委員会に参加し、良質な周産期医療の提供、標準的周産期医療の明確化などを目的とした「産婦人科診療ガイドライン：産科編2011」と「婦人科外来診療ガイドライン」の作成を行った。	産婦人科医師 (日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会会員)				感染症による先天性疾患や院内感染の予防という観点から、母子感染に係わる諸検査実施状況調査の解析をし、産前・産後の予防接種を推進する。	医療関係者、行政担当、妊婦		
		課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議した。					妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎや一献金基金」HPIに継続掲載する。(日産婦医会HPIにリンク)	一般		
		「分娩の安全性」に関して、病診連携、病病連携と共に助産所と医療とのネットワーク作成等について、健やか親子21推進協議会・課題2幹事会を通じて継続的な協議を行った。	医療関係者				「母性健康管理指導事項連絡カード」の啓発を継続	一般		
		厚生労働科学研究「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」班が作成した「新生児聴覚スクリーニング検査パンフレット」を会員に配布し周知に努めた。	[パンフレット配布] 都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。	約5000部			母体救急搬送システムの確立を目指して、総合・地域周産期母子医療センターの設置を推進しつつ整備状況を把握し、産科医師等マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステム等、実効性のある推進に向けて努力する。	産婦人科医師 (日本産婦人科医会会員)		
		日本耳鼻咽喉科学会がまとめた新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査施設リストをHP上にリンク	[検査施設リスト] 一般				NICUに関する諸問題について、対外広報等により行政に対して後方支援システム(施設)の早期構築の実現に向けて今後も活動する。			
		妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎや一献金基金」HPIに掲載(日産婦医会HPIにリンク)	一般				周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努める。(日本早産予防研究会:会長:岡井崇昭和大学教授、世話人:田中常務理事参加)			
		妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎや一献金基金」HPIに掲載した。(日産婦医会HPIにリンク)	一般				新生児蘇生技術向上のため、NCPR講習会を今年度も開催し、インストラクター等の指導者の育成・普及を行う。	産婦人科医師 (日本産婦人科医会会員)	96名	
		感染症による先天性疾患や院内感染の予防という観点から、産前・産後の予防接種を推進し実態把握のため、母子感染に係わる諸検査実施状況調査を実施した。	会員				産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義を引き続き模索し、実効性のある推進に向けて努力する。			
		・妊婦健診におけるHTLV-1抗体検査に対する公的補助に関する要望 首相官邸に「HTLV-1特命チーム」が設置され、本会の要望もかない、10月よりHTLV-1抗体検査が公費負担の対象検査項目に追加された。					・産婦人科の看護に携わる人を対象として、医療・看護水準の維持向上を図る目的で、学術研修会への参加を呼び掛ける。	医療従事者	1回	
		「母性健康管理指導事項連絡カード」について、ホームページに掲載し周知と普及の啓発に努めた。	会員、一般				不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。			

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
公益社団法人 日本産婦人科医学会		産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義に関して継続して検討を行った。								
		新生児蘇生技術習得のため、日本周産期・新生児医学会と協調し、新生児蘇生法講習会専門コースを開催した。	会員(産婦人科医師)	93名						
		総合周産期母子医療センター等の設置数把握及びHP掲載	一般							
		妊産婦救急搬送に関し、その原因としてのNICUにおける長期入院児の問題について、平成15年度・18年度に実施した「NICUに関する実態調査」に引き続き、後方支援システム(施設)早期構築の実現に向けて実態追跡調査を実施した。								
		周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努めた。(日本早産予防研究会:会長は岡井崇昭和大学教授、田中常務理事が参加。)								
		コ・メディカルの知識や倫理意識向上のため、各府県医学会で開催したコ・メディカル研修会を支援した。	助産師・看護師							
		ポスター、パンフレット「当院で分娩をなさる皆様へのお知らせ」	医政局長通知「分娩における医師、助産師、看護師等の役割分担と連携等について」に関する妊婦向けパンフレット及びポスターにより周知	都道府県医学会を通じ、本会会員へ配付した。 ・一般						
		不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。	一般							
一般社団法人日本母乳の会	「赤ちゃんにやさしい病院」認定申請	「赤ちゃんにやさしい病院」を認定していくことにより、母乳育児をひろげていき、地域の子育て支援の核を作っていく	産科施設	7		「赤ちゃんにやさしい病院」認定申請	「赤ちゃんにやさしい病院」を認定していくことにより、母乳育児をひろげていき、地域の子育て支援の核を作っていく	産科施設	6	
	第18回、第19回母乳育児シンポジウム実行委員会	母乳育児シンポジウムを開催するために開催地域で、実行委員会を開催。	産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、薬剤師、母親他	延べ、400名	12	第20回、第21回母乳育児シンポジウム実行委員会	母乳育児シンポジウムを開催するために開催地域で、実行委員会を開催。	産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、薬剤師、母親他	延べ、400名	12
	第19回母乳育児シンポジウム	母乳育児の推進のために取り組み、研究発表、全国規模のシンポジウム、STSに関する研究等を発表	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	1200名	1	第20回母乳育児シンポジウム	母乳育児の推進のために取り組み、研究発表、全国規模のシンポジウム、	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	1100名	1
	第19回母乳育児シンポジウム・ポスター	母乳育児シンポジウム開催を広く周知し、同時に母乳育児の普及。	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	大3000枚 小2000枚	大3000枚 小2000枚	第20回母乳育児シンポジウム・ポスター	母乳育児シンポジウム開催を広く周知し、同時に母乳育児の普及。	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	大2000枚 小2000枚	大2000枚 小2000枚
	第19回母乳育児シンポジウム・一般向けポスター	母親たちが自信を持って母乳育児ができるような呼びかけ	一般市民	2000枚	2000枚	第20回母乳育児シンポジウム・一般向けポスター	母親たちが自信を持って母乳育児ができるような呼びかけ	一般市民	2000枚	2000枚
	母乳育児支援研修会	日本における母乳育児支援の実践研修	産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、保育士、薬剤師等	200人		母乳育児支援研修会	日本における母乳育児支援の実践研修	産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、保育士、薬剤師等	200人	2
	母乳育児ワークショップ	母乳育児を施設内で取り組むためのワークショップ	産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、薬剤師	100人		母乳育児ワークショップ	母乳育児を施設内で取り組むためのワークショップ	産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、薬剤師	200人	2
	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」連絡会議	WHO・ユニセフ認定のBFH施設の維持、および、母乳育児を地域に広げるための討論。授乳・離乳の支援ガイドの普及	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定施設の産科医、小児科医、助産師、看護師	150名		「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」のためのワークショップ	BFH維持のためのスタッフ研修	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定施設の産科医、小児科医、助産師、看護師	100人	1
	「赤ちゃんにやさしい病院」認定記念講演会	BFH認定を契機に地域への母乳育児支援を広げる。	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、地域の市民	約1,200名		「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」連絡会議	WHO・ユニセフ認定のBFH施設の維持、および、母乳育児を地域に広げるための討論。授乳・離乳の支援ガイドの普及	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定施設の産科医、小児科医、助産師、看護師	200名	1

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
一般社団法人日本母乳の会	「第17回母乳育児シンポジウム記録集」発行		産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	1400部	1	「赤ちゃんにやさしい病院」認定記念講演会	BFH認定を契機に地域への母乳育児支援を広げる。	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、地域の市民	約1,200名	2
	ニュースレター		産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	6000部	4	「第18回、第19回母乳育児シンポジウム記録集」発行	会員への情報提供、および、広く社会に知らせる役割	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	各1200部	1
	「安心の母乳育児」発行	母親たちが自信を持って母乳育児ができるために、医師、保健師、助産師、および母向けの小冊子	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	4,000部		ニュースレター	会員への情報提供	産科医、小児科医、助産師、看護師、保育士、薬剤師、一般母親、その他	6000部	4
	先進国BFHI(Baby Friendly Hospital Initiative)会議出席	先進国における母乳育児推進運動の情報交換、および、日本からの発信	先進国におけるBFHコーディネーター	約90名	1	「BFH施設データ集」発行	BFH施設で生まれる3万人の赤ちゃんの分娩・母乳育児状況のデータを発表。母乳育児普及のために。	産科医、小児科医、助産師、看護師、	1000部	1
	「BFH施設データ集」発行	BFH施設で生まれる3万人の赤ちゃんの分娩・母乳育児状況のデータを発表。母乳育児普及のために。	産科医、小児科医、助産師、看護師、	1000部						
財団法人母子衛生研究会	母子保健教室	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供	妊婦および家族	7,511	53	母子保健教室	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供	妊婦および家族	8,000	53
	妊産婦のためのカラダにやさしい減塩実践ガイド	妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発	妊婦届出の妊婦	888,000	1	ママと赤ちゃんのための用品	母子用品の普及啓発	妊婦届出の妊婦、育児期の保護者	880,000	1
	親子ではじめる歯の健康miniブック	妊娠期、子どもの口腔ケアの普及啓発	妊婦届出の妊婦	955,000	1	妊産婦のためのカラダにやさしい減塩実践ガイド	妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発	妊婦届出の妊婦	888,000	1
	ママと赤ちゃんの栄養ガイド	妊産婦の健康管理と授乳期の正しい知識の普及啓発	妊婦届出の妊婦	683,000	1	親子ではじめる歯の健康miniブック	妊娠期、子どもの口腔ケアの普及啓発	妊婦届出の妊婦	955,000	1
	マタニティマーク・チェーンホルダー	マタニティマークを通した妊産婦にやさしい環境づくりの推進	妊婦	300,000	1	ママと赤ちゃんの栄養ガイド	妊産婦の健康管理と授乳期の正しい知識の普及啓発	妊婦届出の妊婦	683,000	1
	母子保健セミナー	母子保健に関する最新情報の提供	保健師、助産師、保育士等母子保健関係者	835	6	マタニティマーク・チェーンホルダー	マタニティマークを通した妊産婦にやさしい環境づくりの推進	妊婦	300,000	1
					母子保健セミナー	母子保健に関する最新情報の提供	保健師、助産師、保育士等母子保健関係者	500	7	
母子保健推進会議	平成22年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)	目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援/内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「子別れ」～落語が伝える親子の情～、シンポジウム:テーマ「地域ではくむ親子の笑顔」・基調講演「親子の笑顔を育むために～診療、健診の現場から」等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	800名	1回	平成23年度「健やか親子21全国大会」	目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演、シンポジウム等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	1,500名	1回
	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的:母子保健推進員等地域組織活動を周知することにより、理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる/内容:厚生労働省による最新の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等	行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等	200名	1回	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的:母子保健推進員等の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員等の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながること/内容:全国の母子保健推進員の活動報告	厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等	180名	1回
	母子保健推進員研修会	目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、乳幼児の事故と予防対策、母子保健推進員の活動・役割・期待、地域での子育て支援をテーマに講演、活動報告等。	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等	4,270名	12回	母子保健推進員研修会	目的:すこやか親子21国民運動の一層の推進を目指す、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告	保健師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	4,300名	16回
	母子歯科保健研修会	目的:母子保健推進員、自治体母子保健担当者、学校関係者等を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産、虐待との関係等	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者	4,270名	12回	母子保健教材の制作・無償配布	目的:母子保健活動を円滑に行うために教材の制作・配布は有効である/内容:妊娠期、子育て期用リーフレットの制作・配布	保健師、助産師、歯科衛生士、保育士、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	500,000部	随時

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
母子保健推進会議	母子保健・健全育成住民会議	目的:住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。/内容:地域における子育て支援、地域に根付いた子育ての実践、学校保健との連携、父親の子育て、より良い親子関係のための実践、テーマに講演、実践発表	母親・父親の代表、母子保健推進員、保育士等	350名	1回	母子歯科保健研修会	目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない方々を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健など	母子保健推進員等、保健師、自治体母子保健担当者	4,300名程度	16回
	地域母子保健福祉情報紙―母推さん―の発行	目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実態の紹介、本会議主催研修会の報告など	都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等	毎月10,000部発行	12回	母子保健・健全育成住民会議	目的:子育てをサポートする方々(母子保健推進員・保育士・保健師等)と子育て中の方々が一堂に会し、情報の共有と連携を図る/内容:シンポジウム、講演、グループワークなど	母親・父親の代表、子育てサポーター、母子保健推進員等	400名	1回
	ホームページ運営管理	目的:全国の保健師、母子保健推進員等の情報の共有を図る/内容:本会議ホームページの全面リニューアル、ホームページ上に質問箱を設置、回答を公開、「母推さん」バックナンバーを公開 http://www.bosui.or.jp	保健師、自治体保健担当者、母子保健推進員等		随時更新、機関紙-母推さんバックナンバー 月1回更新	地域母子保健福祉情報紙―母推さん―の発行	目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など	都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等	月10,000部発行	12回(毎月1回15日発行)
	母子保健と国際協力	目的:日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。/内容:国際協力機構(JICA)などに協力し講義。	母子保健推進員等、保健師	120名	6回	ホームページ運営管理	目的:調査報告、情報の共有、保健活動に当たったの悩みや疑問の解消を図る/内容:情報の公開と共有、質問箱の設置、情報交換の場を設ける。本会議機関紙―母推さん―のバックナンバーを掲載 http://www.bosui.or.jp	保健師、自治体保健担当者、母子保健推進員等		随時更新 機関紙―母推さん―バックナンバー 月1回更新
	独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成	目的:「母子保健推進員等地域組織による子育て応援事業」の実施/内容:「市区町村における母子保健推進員等の果たす役割」調査、母子保健推進員等を対象とした研修会、及び現地調査の実施、報告書の制作(A4判104頁)など	都道府県、指定都市、市区町村、関係機関母子保健担当者	研修会 1,197名、報告書 2,000部	研修会 5回、現地調査8回、報告書配布1回	母子保健と国際協力	目的:日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。/内容:国際協力機構(JICA)などに協力し講義。	母子保健推進員等、保健師	120名	6回
						母子保健啓発教材の制作・頒布	目的:母子保健知識の普及、及び母子保健推進員活動の円滑な推進を図る/内容:母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作し頒布する	都道府県、市区町村母子保健担当者	希望者	随時
						独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成	目的:母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業の実施/内容:母子保健推進員等母子保健関係者研修会開催、訪問活動に有効な教材の制作・配布、市町村母子保健活動調査、ホームページを活用し保健師、市町村母子保健担当、母子保健推進員等への情報提供を行う	保健師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	研修会 1500名、報告書 2000部	研修会5回、現地調査8回、報告書配布1回
					第8回 子育てピア支援者養成セミナー	目的:母子保健推進員等を育成・支援する保健師等を養成し、育児不安の軽減や虐待に至る芽を摘み子育て支援すると同時に、自分自身が持つ本来の力を取り戻す/内容:エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ	保健師、保育士、行政母子保健担当者等	30名	1回	
日本糖尿病・妊娠学会	満足できる妊娠・出産への支援	・糖尿病診断基準改定の施行・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするための計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。 ・「糖尿病から母児を守ろう」キャンペーンを11月14日の週に糖尿病週間にて実施	当会会員、医療スタッフなど	約300	年1回	満足できる妊娠・出産への支援	・妊娠糖尿病に関する多施設共同研究ワーキンググループ、糖尿病合併妊婦のインスリン手技ワーキンググループの設立 ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。 ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするための計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う ・糖代謝異常妊娠全国調査の実施 ・「糖尿病から母児を守ろう」キャンペーンの拡大・	約300	年1回	

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
全国母子保健推進員等連絡協議会	平成22年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)	目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援/内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「子別れ」～落語が伝える親子の情～、シンポジウム:テーマ「地域ではくむ親子の笑顔」・基調講演「親子の笑顔を育むために～診療、健診の現場から」等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	800名	1回	平成23年度「健やか親子21全国大会」	目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演、シンポジウム等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	1,500名	1回
	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる/内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等	行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等	200名	1回	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげる/内容:全国の母子保健推進員の活動報告	厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等	180名	1回
	母子保健推進員研修会	目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、乳幼児の事故と予防対策、母子保健推進員の活動・役割・期待、地域での子育て支援をテーマに講演、活動報告等。	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等	4,270名	12回	母子保健推進員研修会	目的:すこやか親子21国民運動の一層の推進を目指す、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等	4,300名程度	16回
	母子歯科保健研修会	目的:母子保健推進員、自治体母子保健担当者、学校関係者等を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産、虐待との関係、など	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者	4,270名	12回	母子保健教材の制作・無償配布	目的:母子保健か活動を円滑に行うために教材の制作・配布は有効である/内容:妊娠期、子育て期用リーフレットの制作・配布	保健師、助産師、母子保健推進員、歯科衛生士、保育士、自治体母子保健担当等	500,000部	随時制作・配布
	母子保健・健全育成住民会議	目的:住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。/内容:地域における子育て支援、地域に根付いた子育ての実践、学校保健との連携、父親の子育て、より良い親子関係のための実践、テーマに講演、実践発表	母親・父親の代表、母子保健推進員、保育士等	350名	1回	母子歯科保健研修会	目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない方々を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健など	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者	4,300名程度	16回
	地域母子保健福祉情報紙—母推さん—の発行	目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実態の紹介、本会議主催研修会の報告など	都道府県・保健所・市区町村・関係団体母子保健担当者	毎月10,000部発行	12回	母子保健・健全育成住民会議	目的:子育てをサポートする方々(母子保健推進員・保育士・保健師等)と子育て中の方々が一堂に会し、情報の共有と連携を図る/内容:シンポジウム、講演、グループワークなど	母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター等	400名	1回
						地域母子保健福祉情報紙—母推さん—の発行	目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など	都道府県・保健所・市区町村母子保健担当者・団体等	月10,000部発行	12回(毎月1回15日発行)
日本生殖看護学会	第8回 日本生殖看護学会学術集会の開催	メインテーマ:不妊の意味を考える～治療開始から終結に向けて～ 会長講演:「不妊治療の意味を考える～治療の終結をどう迎えるか」	看護専門職者および医療職者	200	1	第9回 日本生殖看護学会学術集会の開催	メインテーマ:生殖看護の発展を目指して・・・妊娠性維持の支援 会長講演:「ヒトの妊孕性と生殖看護」	看護専門職者および医療職者	200	1
	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 日本生殖看護学会九州地区勉強会、関西地区勉強会、関東地区勉強会	不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。	看護専門職者	67	3	平成23年度生殖看護実践セミナー	テーマ: 卒児希望のあるがん患者への支援を考える	看護専門職者	40	1
	不妊看護に関するニュースレターの発行	学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。	看護専門職者で本学会員	1000	3	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 日本生殖看護学会九州地区勉強会、関西地区勉強会	不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。	看護専門職者	67	2
	日本生殖看護学会誌の発行	不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。	看護専門職者で本学会員	320	1	不妊看護に関するニュースレターの発行	学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。	看護専門職者で本学会員	1000	3

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題2）
－妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画					
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数	
日本生殖看護学会	看護ケア提供者のための相談業務(コンサルテーション)	インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。	本学会員全員	0	随時	日本生殖看護学会誌の発行	不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。	看護専門職者で本学会員	320	1	
	研究助成	不妊看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、不妊看護の発展を図る。	看護専門職者で本学会員	1	2	看護ケア提供者のための相談業務(コンサルテーション)	インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。	本学会員全員	未定	随時	
						研究助成	不妊看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、不妊看護の発展を図る。	看護専門職者で本学会員	2	1	
FOUR WINDS乳幼児精神保健学会	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第13回学術集会in佐賀	テーマ「子育てを考える：子どもの心の発達を学んで、子育てをパワーアップ」	学会員、開催地域の子育て支援団体、支援者など	約500名	1回	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第14回学術集会岐阜大会	テーマ「赤ちゃん・子ども家族は地域の宝ー社会で子育てをするということー」	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	600名	1回	
	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第11回(5/16)、第12回(8/8)セミナー	ロバートソンフィルム上映会「Laura」(5/16)「ケイト」(8/8)	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	約100名	計2回	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会特別セミナー	ジョイ・オソフスキー先生ご夫妻を迎えてのシンポジウム「東日本大震災後の子どものこころのケア」	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	500名	1回	
	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第13回セミナー	アリーシャ・リーバマン先生の臨床と研究	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	約100名	1回	ウェザーストーン先生の勉強会「リフレクティブ・スーパービジョンについて」	学術集会に招聘するウェザーストーン先生の勉強会	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	100名	1回	
	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会特別セミナー	アリーシャ・リーバマン先生特別講演会	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	約800名	1回	学会誌4号の発行	特集「間主観性」2010年度学術集会(佐賀)の報告シリーズ「お母さんのつぶやき」「子育ての歴史」他	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	700名	1回	
	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第14回セミナー	アリーシャ・リーバマン先生からのメッセージ	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	約100名	1回	ニュースレターの発行	幹事会で決定した検討事項をリアルタイムに会員に広報する	会員	400名	2回	
	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会学会誌2、3合併号発行	・特集「甘え」 ・第12回学術集会の報告	会員及び乳幼児精神保健の臨床に従事する非会員	400名	1回						
	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会ニュースレター 16、17号発行	幹事会で検討、決定された議題の内容を会員にリアルタイムで伝える	会員	400名	2回						
日本未熟児新生児学会	日本未熟児新生児学会学術集会	新生児医療の向上、新生児死亡の防止	全会員	3,000名	1	日本未熟児新生児学会学術集会	新生児医療の向上、新生児死亡の防止	全会員	3,000名	1	